

長門の風

■発行と編集／
 長門町役場
 商工観光課
 TEL 0268-68-3111
 FAX 0268-68-4011
 題字:北澤貞利町長

「道の駅」隣に

やすらぎの湯オープン!

ことし3月、長門町古町の国道152号脇に道の駅「マルメロの駅ながと」がオープンし、続いて4月28日には長門温泉「やすらぎの湯」がオープンしました。

また、ここにはすでに「長門町情報館」や商店が建ち並ぶ

「やすらぎステーション28」がオープンしており、町の大きな観光拠点として注目を集めています。別荘に來られた折りにはぜひお出かけください。

長門温泉 やすらぎの湯

晴れた日には蓼科山が望める長門温泉やすらぎの湯は、一般浴槽、打たせ湯、ジェット水流風呂、サウナなどがあり、一面ガラス張りの浴槽からは自然が一望でき開放感に包まれます。

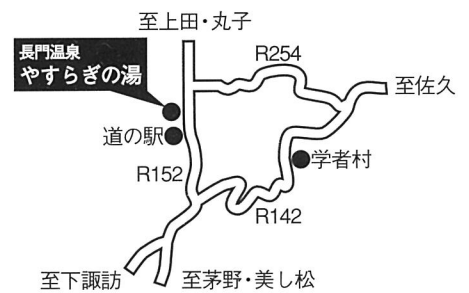
さらに自然庭園のある露天風呂にゆっくり浸かると、昼には浮かぶ雲を眺め夜には星空を身近に感じながら、さわやかな長門の風にのんびりしていただけます。



営業時間は午前9時から午後9時まで、料金は大人500円、小人300円で、乳幼児は無料です。休館日は毎月第2・4月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日）と12月30日～1月1日です。

また、温泉と隣あわせに64mのローラーすべり台、親水広場やバスケットコートなど、子どもも楽しめる施設や遊具も用意されていますので、ご家族連れでお出かけください。

また、温泉と隣あわせに64mのローラーすべり台、親水広場やバスケットコートなど、子どもも楽しめる施設や遊具も用意されていますので、ご家族連れでお出かけください。



道の駅

マルメロの駅ながと

長門町は古くから交通の要所であり、江戸時代には中山道長久保宿として大名行列や旅人、荷馬車の往来で栄えていました。

そして、平成の時代の今日、車の社会の道の駅として休憩、情報交流、地域連携の機能をもった交流の場、「マルメロの駅ながと」がオープンしました。

駐車場、休憩施設などがありまので、車から降りてちよつと一休みはいかがでしょう。

また、商店が建ち並ぶ「やすらぎステーション28」へもお立ち寄りください。

長門町情報館

世はまさに情報の時代。長門町情報館には次に紹介するような機器が用意されています。お気軽に体験してください。

インターネットカフェ
 自由きままにネットサーフィンを楽しめます。初めての方でも使えるように「虎の巻」を用意しています。もちろん長門町のホームページも見ることができます。
 情報工房
 マッキントッシュなどDTP機器を扱い、パンフレットやチラシなど自分の好きなものを制作できます。使用は会員登録が必要になります。

ミニシアター
 70インチのモニターを用意。パワフェクトVをはじめ、ビデオ、レーザーディスク、インターネットの映像をご覧ください。
 この他にも、全国のタウン情報誌が揃う情報ライブラリー、町の観光情報がわかるおもしろマップなどがあります。

突然の雨氷害で

別荘地も大きな被害を受ける

「夜明け前より絶え間ない音に飛び起きて、外を見て、驚きのあまり声も出ないほどでした。あの美しかったカラ松が何本も折れ…」
浜松市にお住まいの村井様からこのようなお便りをいただきました。
それは一夜にしてつくられた氷細工のようなあまりに美しい、しかし、大自然が猛威を振るった悲惨な光景でした。

まさに大きな災害となった雨氷害は、4月2日（木）の未明に発生。長門町の美し松ハイランド別荘地とふれあいの郷別荘地は樹木に大きな被害を受けました。

雨水害は、標高1200～1400mのエリアを中心に発生。気温が上空よりも冷え込んだため雨が地表の樹木の枝に凍り付き、その重みに耐えきれず立木が折れたり曲がったりしたもので、町全体の被害面積は、国有林、財産区有林、民有林あわせて300ha以上に及びました。

町ではすぐに別荘地所有者の皆さまに第一報のご連絡を申し上げ

るとともに、現場では道路の通行確保を行い、中部電力とNTTに電線、電話線の復旧作業を急いでいただきました。

樹木の被害状況

樹木に被害のあった別荘地は、美し松ハイランド別荘地で90%以上、ふれあいの郷別荘地ではおよそ65%ありました。とくに美し松ハイランドではおよそ25%の別荘地に大きな被害があり、これがB地区に集中していて、中にはほとんどの樹木が被害を受けた所もありました。

しかし、今回の雨氷害は樹木に



復旧作業が進められる現場

お便りを いただきました

前略
お知らせ（町からの通知文）
拝見致しました。

私共、春休みの孫達と滞在しており二日の朝帰る予定にしておりました。それが突然の恐ろしい出来事に、忘れる事の出来ない一日となりました。

夜明け前より、ピシピシ、バリバリ、ドドドーンという絶え間無い音に、何が起きているのかわからず、飛び起きて外を見て驚きのあまり声も出ない程でした。あの美しかったカラ松が何本も折れ、牙をむき赤い肌を出しているのです。そしてガラス細工のように美しい枝は大声響とともに落下して…。

そして停電。すべて電力に頼っている生活

です。で途方にくれましたが、中電の方、NTTの方達が（中略）

クレーンに乗り電線の修理にと全力を出して下さっている姿を見て、私達もローソクの明かりでホッカイロを体に巻き、頑張っております。

お蔭様で十九時頃には電気がつき、中電の方が「寒い中申し訳ありませんでした。これからお気を付けてくださいね」と優しく声をかけて下さった時には、本当に頭が下がりました。

二度と経験する事は無いであらう自然の恐ろしさ、樹木の美しさはこれからの語り草となる事と思います。

四月八日

村井 美代子

（美し松ハイランド別荘地）



打撃があったものの、建物への被害は件数も少なく程度も小規模なものにとどまりました。

被害を受けられた皆さまには心からお見舞い申し上げます。

倒木の処理について

さて、倒木の処理についてですが、管理事務所に一報いただければ相談させていただきます。

また、軽微な被害の場合は自

分で倒木を処理されている姿も見られましたが、危険が伴う作業ですので専門業者に依頼されることをお勧めします。

すでに倒木の処理が終わり、以前にも増してきれいに整備された別荘地もあります。都会の皆さまの第二のふるさととして、別荘地を守り育てていただくためにも、できるだけ早い時期に倒木を処理されることをお願い

いたします。

植林で新たな別荘地に

被害の大きかった別荘地はほとんどの立木が被害を受けた場所もあります。このような別荘地は倒木の処理をすると立木がなくなってしまう。立木がないと景観も悪く、雨が降れば土砂崩れなどの災害の要因にもなりかねません。

そこで植林をされたいかがでしょうか。樹種はこの地の植生に合った従来からあるようなカラマツや白樺の木も良いかと思いますが、他にもミズナラやナナカマド、ヤマボウシなどの広葉樹は四季折々の変化が楽しめます。生長する早さも樹種によつて違いますので、森林組合などの専門業者に相談されるのが良いでしょう。

雨水害の御見舞

長門町長 北澤 貞利

日ごろ長門町の別荘地について皆さまに大変ご利用いただきありがとうございますこと厚く御礼申し上げます。

さて、今回の雨水害につきましては突然の災害で、被害を受けられた皆さまには心から御見舞申し上げます。

かつて平成元年二月に学者村の全域でやはり雨水害による倒木の被害がありました。この時も樹木に大きな被害を受けまし

たが、今回のこれほどの自然の猛威は私どもも経験のないことで、自然の力をまざまざと見せつけられました。

皆さまを選んでいただいた長門町の別荘地をさらに素晴らしなものにしていくためにも、今回の災害の復旧に意を注いで参りたいと思っておりますのでよろしく

お願い申し上げます。さて、北陸新幹線の開業、上信越自動車道の開通と、都会と

長門町を結ぶ時間がたいへん短くなりました。町の産業や観光もまた新たに様変わりしていく転換期を迎えたわけですが、より一層、皆さまに親しんでいただけるような町にして参りたいと考えております。

この四月には長門温泉やすらぎの湯も開業しました。別荘地に来られたらぜひ訪れていただきたいと思っております。



折れた白樺の木



小茂ヶ谷そば打ち体験道場

信州は「そば」のふるさとです。長門町大門の小茂ヶ谷地籍に「小茂ヶ谷そば打ち体験道場」があります。

ご家族連れで、友達と一緒に、あなたも地場産のそば粉とおいしい水を使ってそば打ちを体験してみませんか。

料金はそば打ちの指導料、材料費込みで一名様1,000円（大人、子ども同一料金）です。

なお、そば打ち体験には予約が必要です。長門町観光センター（☎0268-69-2911）までお申し込みください。

国道254号の岡森地籍の道路改良工事が平成12年度を目前に立科町境まで進められることになりました。
 工事は今年の夏場から始まります。学者村別荘地の皆さまには車の通行などたいへんご迷惑をお掛けいたしますが、ご協力をお願いいたします。

**国道254号の
道路改良工事が
行われます**

長門町関連ホームページ

- 長門町 <http://www.town.nagato.nagano.jp/>
- 長門町情報館 <http://www.nagato.ne.jp/>
- やすらぎの湯 <http://www.nagato.ne.jp/yasuragi/>
- 別荘地 <http://www.nagato.ne.jp/villa/>
- 観光協会 <http://www.nagato.ne.jp/tourism/>



阿山の紅花一薬草

これから夏本番！ 別荘シーズンはずいぶん。ことしの夏もぜひ長門町にお出かけください。
 これから夏本番！ 別荘シーズンはずいぶん。ことしの夏もぜひ長門町にお出かけください。

別荘地の

契約更新について

皆さまに愛され親しまれてきた別荘地が、早いもので昭和43年に学者村別荘地の契約が始まって以来30年目を迎え、今年が契約更新の第一年目となりました。

契約更新が始まります。

今年が昭和43年に契約された方が該当します。該当される皆さまには町から更新についてののご案内通知をお送りしましたが、まだ通知が届いていない方は長門町役場商工観光課までご連絡ください。

☎0268-68-3111

通知の内容は、契約期間満了のお知らせと更新の希望などについて伺いするものです。

建物共済のおすすめ

あなたの別荘は、火災や自然災害など不慮の災害に対して備えは万全ですか。

近年、火災や自然災害などの不慮の災害による被害が増加しており、たくさんの貴重な財産が失われています。こんなとき頼りになるのがのうさい（農業共済組合）の建物共済です。

のうさいの建物共済は、安い掛金で大きな補償をモットーに親しまれており、現在、長門町の別荘所有者のうち約550戸の方にご加入をいただいております、その補償額は65億円に上っています。

どうかこの機会にのうさいの建物共済で別荘の守りを固めてください。

（加入申し込み・問い合わせ先）

のうさい上小（農業共済組合）建物共済係

TEL 0268-35-3333

編集後記

昨年から商工観光の係を担当しています。

異動したばかりはちょうど秋でしたので、別荘地の落葉するカラマツの美しさに今さらのように感じ入ったものでした。

しかし、自然は美しさと厳しさの背中合わせ。冬場の度重なる大雪を切り抜けたと思ったら、すぐに春先の雨水害と続き、ことしは自然災害に振り回されたたいへんな年となりました。

それでも夏に向かって、雨水害で折れそうになった枝に水や養分を送って青々と若葉を甦らせる木々の生命力を見ると、もうひとつ先に進もうという力を与えられているような気がします。